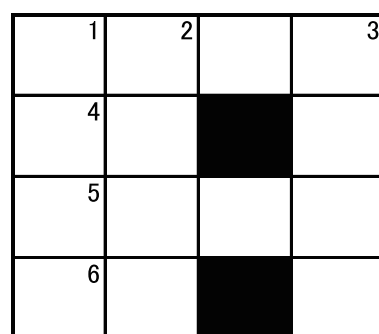


ちょっと一息

クロスワードパズル



《タテのカギ》

1. 髪の毛を増やしたり、丈夫で太いものに育てること。「一剤」
2. つめたい水
3. 他人のかわりになること。「人質の一になる」

《ヨコのカギ》

1. 肌に針や刃物で傷をつけ、墨汁・朱などをすり込んで、文字・紋様・絵柄を描き出すこと
4. 地中に打ち込んで、目印や支柱にする棒。「出る一は打たれる」
5. ロシア連邦の首都
6. 雨が降りそうなようす



みんなのお便りコーナー

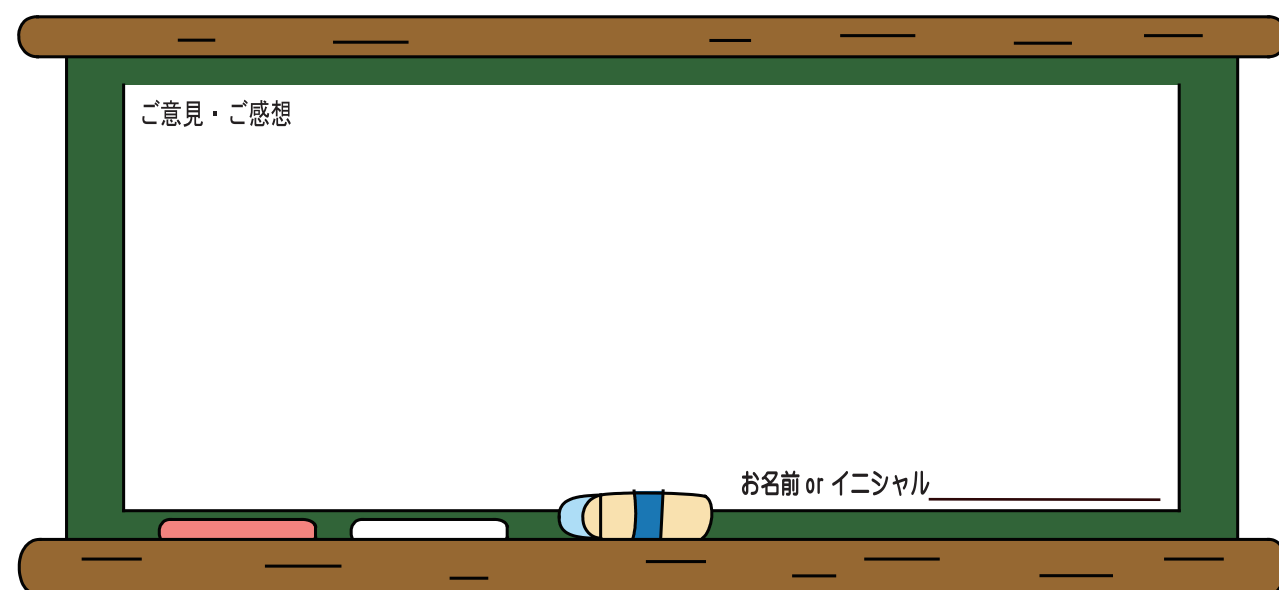
銚日誌へのご意見・ご感想をお待ちしております。こんな内容にして欲しい、あれは良かった。

これはダメ（お手柔らかに）。なんでも結構です。お聞かせください。

お答えいただいた内容は、大いに参考、実践させていただきまます。

ご意見は FAX にて承ります。病院でお合いする弊社スタッフにお伝えいただいても結構です。

FAX 0774-62-9667



編集後記

近所の公園を通る時、彩りが梅から桜に移り変わるのを見て、季節を感じている岡です。あ、「自称編集長」です。

今回も最後までお付き合いいただきありがとうございます。重ねてのお願いになりますが、皆様からのご感想お待ちしております。

次回は夏号になります。それではまた。



銚日誌について

銚日誌は弊社製品をご購入いただいた皆様に、ご購入後一年半の間、無料でお送りしているものです。

一年半を越えて継続をお求めの方には引き続き無料にてお送りいたしておりますが継続の申込をお願いしております。

恐れ入りますが電話 0774-62-9566（月曜から金曜の朝9時から17時まで）にご連絡いただけますようお願い申し上げます。

なお、銚日誌のバックナンバーは株式会社 P.O. ラボ facebook ページにてダウンロードしていただけます。

かすがい

銚日誌

2013 / 春号
vol. 7



株式会社 P.O. ラボ

〒610-0342

京都府京田辺市松井山川 1-7

電話 0774-62-9566

FAX 0774-62-9667

e-mail : info@po-labo.com

http://www.po-labo.com

郵便
納金
後集

お便り

ごあいさつ

出会いと別れの季節を迎え、ますます人とのつながりの大切さを感じている今日この頃、みなさまいかがお過ごしでしょうか。ちょっとリニューアルしました銚日誌をお楽しみ下さい。

お知らせ

特集： 関節リウマチと装具

アトピーと聞いて

社員ののぞき穴

ちょっと一息

みんなのお便りコーナー

編集後記



【 お知らせ 】

先日、大阪府立大中百舌鳥キャンパスで開催された、EV（電気自動車）展示会の「超小型 EV・大阪産 EV 企業展示試乗会」に、私たちの“自動3輪車いすバイク”こと WCV を展示参加してきました。

電気自動車というのは、大企業による TV でよく見るものばかりではなく、超マイナーではあるけれど、中小企業が製造した電気自動車も結構あるんですね。みかんの収穫で活躍する農業用 EV、車いすのまま助手席に乗り込める EV、車いすのまま運転できる3輪 EV（あつ、うちの WCV だ。）などなど。しかも今回参加していた企業は全部大阪の企業なんです。

「いや～みんながんばとんな。」と、良い刺激を受けた展示会でした。



農業用 EV



WCV



助手席に車いすのまま乗り込める EV

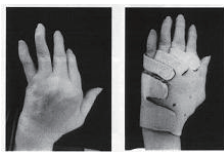


【 特 集：関節リウマチと装具 】

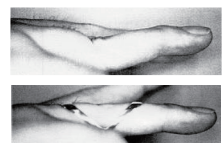
前号までの関節リウマチ特集の続きで、今回は関節リウマチの治療で用いられる、装具についてお話しします。

関節リウマチにおける、装具の目的は、変形の矯正・予防、患部の安静固定により、痛みの軽減、支持性の獲得ということになります。これらの機能を持った上で求められるのが、軽量であること、外観が目立ちにくいこと、自分で装着できることなどです。いくつかご紹介します。

手の装具



人差し指から小指までが、小指側に傾く変形を矯正します。適正な位置に矯正することで、指の機能を増進を目的とします。



指の第2関節がへこんでしまうような、変形には指輪型の装具で矯正し、第2関節を曲がりやすくします。



伸縮性のある素材を親指に引っかけて手首に巻き付けます。手の使いにくい方でも簡着に、圧迫の調整ができます。



アルミの支柱が入っていて、手首をがっちり固定するタイプのサポーターです。杖を使ったり、支持性を持たせたいときに有効です。



足の装具

関節リウマチによる足の変形や痛みに対しては、靴や足底板が処方されます。

関節リウマチの進行により、足の変形が起きてくると、体重の負荷と、足に合わない靴の圧迫により、関節の炎症があるときに、痛みが現ると、耐えがたいほどの痛みで歩くことが難しくなります。



足底板を製作するとき、関節リウマチは関節の炎症なので、基本的には矯正をしません。今の足の形状に沿わせることで、足の裏全面で体重を支持できるように努めます。材料は、ペー

スに足底板が体重により潰れないよう固い素材を使い、その上にクッション性の高い素材を重ねます。足の裏で特に痛みの強い部分は、部分的に、さらに柔らかい素材を使用したりもします。



靴を製作するときも素材に気を遣います。本来、靴は踵をしっかりと靴のヒールに押しつけ、紐やバンドで足の甲をキュッと締めて固定することで足を、そして身体を支えてくれます。しかし、



関節リマチの患者様は、足の甲の痛みや手の力が弱いために、この「キュッ」ができないことがあります。なのでら当たりをソフトにするために柔らかい革を使用します。そして同時に足裏の形状に合った足底板を製作するので、足底板を入れて靴の中が窮屈になることはなく、変形に応じて後々の調整もしやすくなります。

杖



関節リウマチ患者様の杖その名も「リウマチ杖」。特筆すべきはその重量で、床から脇下までの長さでおよそ 400g。松葉杖の重量が軽くて 900g はあるので、その半分以下です。脇に挟むだけでも十分に持ち上げられてしまうので、手の力が弱くて杖が握れないという方でも、脇で持ち上げて使うことができます。



軽量にするため調整機構は付いてないので、一人一人に合わせてのオーダーメイド品になります。

ご紹介したのは一部ですが、関節リウマチは全身にわたる疾患なので、装具も身体のあらゆる部分で適応となります。

3回にわたり連載した「関節リウマチ」でしたがいかがでしたでしょうか。関節リウマチは早期の治療により、日常生活への影響を抑えることが十分に可能です。関節リウマチと縁の無い方も、どうゆう病気が知っておくことで、もしもの時も、早期の発見に繋がると思います。

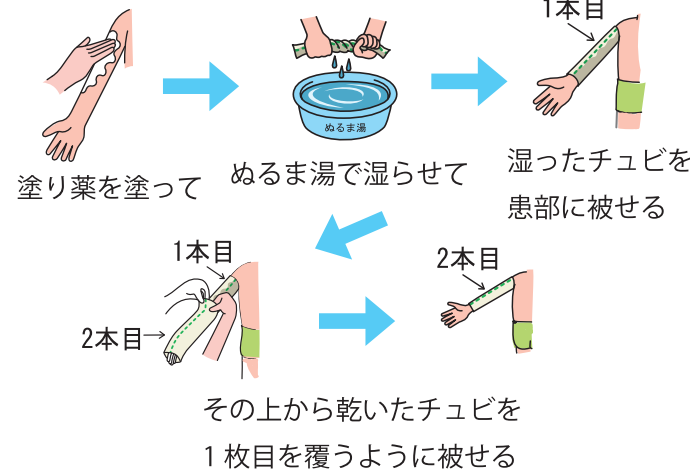
【『アトピー』といえば】

みなさん、こんにちは岡です。

今日は、私たちが扱っている商品で、少し毛並みの違うものを紹介します。装具を装着するとき、肌の弱い人のために、薄い下巻きをお渡しすることがあります。実はこれ、アトピー性皮膚炎の治療などで使われる材料なんです。

私の子供が、産まれて間もなく、アトピー性皮膚炎と診断されました。放っておけばいつまでも掻きむしるし、痒みで寝付きも悪く、寝ても痒くて眼が覚めるという感じで、なんとかしたいなと思っていました。病院での治療はもちろん、それ以外にも自分たちで探して、あれやこれやと試していました。そんなときに出会ったのが、今回ご紹介する商品、「チュビファースト」（以下愛情を込めて「チュビ」と呼びます）でした。

チューブ状の伸縮性のあるレーヨン素材で、使い方は、塗り薬を塗った上に湿らせたチュビを被せ、更に乾いたチュビで患部を覆って使用します。



使ってみると、効果はすぐに現れました。夜、お風呂上がりに病院で処方された塗り薬を塗って、その上からチュビを被せます。そして朝になって触ってみると、肌が凄くしっとりしているのが分かりました。アトピー性皮膚炎特有の、ザラザラやゴワゴワ感がなく、赤ちゃんらしい肌触り、そうそれは正に「プルンプルン」。湿らせたチュビが保湿効果をもたらし、塗り薬の効果も良くなるということです。

もう一つびっくりしたのが、チュビを使うと、掻くという行為そのものが減ったということです。全くなくなるわけではないのですが、掻くときもピッタリ張り付いたチュビの上から掻くので、傷になりにくいのです。「痒い→掻く→悪化」のサイクルを考えると、掻かないということは、悪化させず、回復した皮膚を保つことができるので、我が家で大活躍です。



【社員ののぞき穴】

就職して2年目に突入！…したことに目を向けず、「もう少しチャホヤされたい」 憐れな男・大谷です。

さて、私の趣味といえばドライブなのですが、そんな気持ちに駆り立たせるのは何と言っても愛車 JUKE の乗り心地！笑 しかし、最近駐車場代（大阪市内は高い！）などが家計を圧迫していると問題視され、このまま子供が出来ても大変なので、貯金をするため愛車を手放す案が浮上。嫁と話しに話し合った結果、半泣きで承諾。

あまりに痛々しく思えたのか、嫁が最後にドライブに行こうと提案してくれました。行き先は岐阜県、養老の滝と養老天命反転地。途中すべての高速道路サービスエリアで食事を摂り、到着した滝の力強さたるや！ちらつく雪と重なって絶景でした。そして、反転地。まったく理解のできない芸術作品でしたが、意味のわからないものこそ考えることも考えないことも出来て開放的な気持ちにさせてくれます。

胃も心も満たされ、愛車とのお別れも悔いなし！車のない（ある意味）新生活のスタートです。皆さんもなにかとスタートする季節、体調に気をつけて元気なスタートを迎えてください。

